

総説論文，速報論文投稿のお勧め

日本塑性加工学会会員の皆様

日頃の皆様の御努力，御活躍に敬意を表します。「塑性と加工」は，塑性加工に関する研究成果の発表，および研究の交流・協力を促進するため，研究論文，塑性加工の分野に役立つ解説や講義，展望などの一般記事，学会が開催する行事案内などを掲載しています。

近年，研究論文の投稿が減少しております。この背景には，大学において，研究に対する国際的な評価を重視する流れから，日本語論文に対する研究業績としての評価が下がっていることがあります。

一方，日本語で，塑性加工に関する研究成果を情報交換する必要性はますます高まっております。塑性加工春季講演会や塑性加工連合講演会における研究発表は活発であり，数々の貴重な研究成果が公表されています。分科会や研究会，本部企画，支部企画における研究交流も盛んです。会員の70%が産業界の会員である日本塑性加工学会としては，研究成果が日本語でまとまった形で公表され，論文として集積されることが，産業界への研究成果の伝達，日本におけるものづくり発展のために重要であると考えます。

そこで，研究成果の投稿として，論文として投稿していただくだけでなく，これまで投稿が少なかった総説論文ならびに速報論文の形での投稿もぜひお勧めいたします。

総説論文(規定刷上りページ数6以内)は，著者あるいは著者以外の研究成果や調査結果を基に，研究の発展過程を明確にしつつ，総合的に整理・総括することにより，個々の研究成果だけでは得られない価値ある結論を導いたもので，これまで個々に発表された研究を総括したものや，博士論文など，一連の研究をまとめたものを総説論文として投稿されることをお勧めいたします。総説論文は論文と同様，論文賞の選考対象になります。

速報論文(規定刷上りページ数3以内)は，著者の研究成果の原著で，速報性が高いもので，春季講演会や連合講演会で発表されている研究成果をまとめて，速報論文として投稿されることをお願いいたします。

投稿した論文の査読終了後には速やかに掲載されるように，編集委員会としても努めてまいります。

ぜひ，皆様の貴重な研究成果が集約された形で「塑性と加工」に蓄積されるよう，皆様方の積極的な投稿を期待いたします。

平成 26 年 6 月 23 日
日本塑性加工学会編集委員会